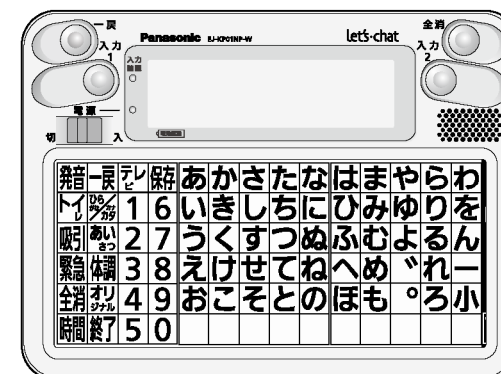


Panasonic®

取扱説明書 意思伝達装置

品番 EJ-KP01NP-W

レッツ・チャット



■ お問い合わせは、下記へ
ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

商品・お取扱いなどのご相談は

パナソニック エイジフリー株式会社

フリーダイヤル



0120-365887

●受付時間 9:00~17:30(土、日、祝日休み)

<http://sumai.panasonic.jp/agefree/products>

パナソニック エイジフリー株式会社

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048

©Panasonic AGE-FREE Life Tech Co.,Ltd.2012-2017

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

●ご使用前に「安全上のご注意」(4~6ページ)を必ずお読みください。

●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

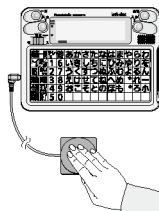
SO211-3067
LSQT1638-4

本機の特長

本機は言語障がいと上肢障がいの両方に障がいを持つ方に適した意思伝達装置です。
本機なら、スイッチひとつを操作するだけで、コミュニケーションがとれます。

簡単接続

- 入力スイッチ（対応品）を接続するだけで、すぐに使うことができます。（➡7、13ページ）
いつでもどこでも簡単に会話を楽しめます。



簡単操作

- 入力したい文字が光っているときに、入力スイッチを押すだけで文章を作成することができます。（➡14ページ）
すべての動作に音声ガイドがあるので、視覚障がいのある方でもご利用いただけます。

呼出ブザーとしても使用できる

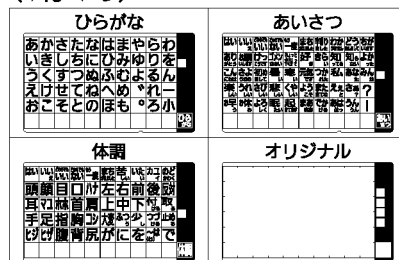
- 本機の入力スイッチを押し続けるだけで、内蔵の呼出ブザーを鳴らすことができます。（➡15ページ）
お手持ちの1つの入力スイッチで会話と呼出ブザーの2つの機能を使い分けことができ、大変便利です。
ワイヤレスコールセットがあれば、同時に離れた場所のブザーを鳴らすことができます。（➡7、13ページ）

設置も簡単

- 生活シーンに合わせた設置方法を選べます。
- 小型軽量なので手軽に持ち運びができます。
- AC100Vと単3形乾電池のどちらにも対応しているので、家の中でも外出や入院時でも手軽に使えます。

表現豊かな文字板

- 日常生活で必要と考えられる言葉を集めた文字板を4枚準備しています。
交換するだけで表現豊かな文章が作成できます。（➡16ページ）



- ・ 入力方法を工夫すれば、文字板を交換しなくても別の文字板の文字を選択することができます。（➡17ページ）
- ・ 「ひらがな / カタカナ」の枠を選択することでカタカナに切り替えて入力することもできます。（➡17ページ）
- ・ オリジナル文字板には、利用者がよく使う言葉を30個まであらかじめ保存しておくことで、コミュニケーションをよりスムーズに取ることができます。（➡23～25ページ）

こんなに便利

- 一文あたり最大360文字まで入力できるので、ちょっとした手紙や日記も書けます。
作成した文章は、文字板の空白の枠に簡単に保存できます。（➡21、22ページ）
- プリンターを使って、作成した文章を印刷できます。（➡20ページ）
- イヤホンを使えば、操作音は本人のみに聞こえます。操作音で周囲に迷惑をかけずに使えます。（➡10ページ）
- カレンダー機能を内蔵しています。現在時刻を音声で読み上げます。（➡15ページ）
- 入力スイッチを接続して操作する機器を2台まで接続できます（一部の機能には対応していない場合があります）。入力スイッチをつなぎかえることなく、本機を介してこれらを操作することができます。（➡27ページ）

もくじ

お使いになる前に

すぐに使う

試してみる

特別な機能

使いこなす

他の機器との接続

設定

その他

本機の特長	2
安全上のご注意	4
ご使用前に	7
付属品の確認	7
対応品	7
本機の取り扱いについて	8
使用上のお願い	8
お手入れについて	8
各部の名称と働き	9
準備をする	12
「トイレ」「吸引」シールを貼る	12
設置をする	12
電源の準備をする	12
入力スイッチ（対応品）について	13
ワイヤレスコールセット（対応品）について	13
テレビメーカーの設定	13
電源を入れる	13
会話をする	14
文字の入力方法	14
入力を間違えたとき	14
作成した文章を読み上げる	15
作成した文章を全て消去する（全消）	15
さまざまな文字の入力方法	15
呼出ブザーを鳴らす	15
時間を読み上げる	15
会話を終了する	16
文字板を交換する	16
文字板を交換しないで他の文字板の言葉を入力する	17
ウィック設定モード	18
スキャン速度、スピーカー音量、液晶明るさを変更する	18
特殊文字や特殊機能の入力	19
印刷機能	20
プリンターの機種と設定（2013年8月1日現在）	20
印刷方法	20
保存機能	21
作成した文章を保存する	21
保存した文章を消去する	22
特殊機能を保存する	22
オリジナル文字板を活用する	23
文章保存モード（支援者が早く文章を作成して保存）	25
テレビリモコン機能	26
TVリモコン送信ケーブルを接続する	26
テレビメーカーの設定をする	26
操作方法	26
意思伝達装置、環境制御装置などとの接続方法と操作方法	27
対応する装置	27
接続方法	27
切り替え方法	27
設定を変更する	28
支援者による設定変更方法	28
利用者による設定変更方法	28
設定項目の一覧	29
日時設定	34
液晶画面のコントラストの調整	34
故障かな？	35
こんな表示が出たら	35
Q&A（よくあるご質問）	36
仕様	38
保証とアフターサービス	39

お使いになる前に

試してみる

特別な機能

他の機器との接続

設定

その他

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、AC100 V 以外での使用はしない  たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。	分解、改造をしない  内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。 分解禁止
電源プラグのほこり等は定期的にとる  ● プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因となります。 ● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。	電源コード・プラグを破損するようなことはしない (傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)  ● 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。 ● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。
電源プラグは、根元まで確実に差し込む  ● 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。 ● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。	ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない  感電の原因となります。 ぬれ手禁止

警告

雷が鳴り出したら、本機の金属部や AC アダプターなどの電源プラグに触れない



落雷すると、感電の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かない



落下すると、けがや製品の故障の原因となります。

水をかけたり、ぬらしたりしない



水ぬれ禁止

- 内部に水が入ると、火災・感電・故障の原因となります。
- 水が入ったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

煙が出ている、異常に熱い・におい・音がするときなどは、使うのをやめ、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。ただちに買い上げの販売店にご相談ください。

内部に水や異物などが入ったときや外装ケースが破損したときは、使うのをやめ、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。ただちに買い上げの販売店にご相談ください。



電池は誤った使いかたをしない

- ・⊕と⊖は逆に入れない
- ・乾電池は充電しない
- ・加圧、加熱、分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない
- ・使い切った乾電池は、本機から取り出す
- ・長期間使用しないときは、本機から乾電池を取り出す
- ・ネックレスなどの金属物といっしょにしない
- ・⊕と⊖を針金などで接続しない
- ・取り扱いを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂などを起こし、火災やけが、周囲を汚損する原因となります。
- ・万一、液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ・液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

安全上のご注意（つづき） 必ずお守りください

⚠ 注意

次のような場所で使用したり、放置しない

- 異常に温度が高くなる場所（特に真夏の車内やトランクなど）
 - 油煙や漏気の当たるところ
 - 湿気やほこりの多いところ
 - 重いものの下
 - 足元など、誤って踏んでしまうようなところ
 - 振動の激しいところ
- 火災やけど、感電、破損の原因となります。

ショルダーベルトは首に掛けて使用しない
けがや事故の原因となります。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

- ！ 本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

本機専用のACアダプター以外は使わない
指定外のACアダプターを使用すると、火災・感電の原因となります。

電源コードを持って抜かない

- コード破損の原因となり、火災・感電のおそれがあります。
- 必ず、電源プラグを持ってください。

ショルダーベルトを乳幼児の手の届くところに置かない

- ⚠ 誤ってショルダーベルトを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。

お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、電源プラグを抜く

- ⚡ 通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災につながるおそれがあります。
- 電源プラグを抜く

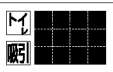
電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

- ⚠ 本体の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど*の原因となります。
- ※ 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

ご使用の前に

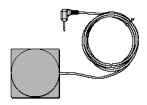
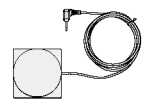
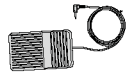
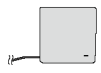
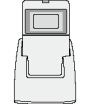
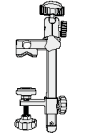
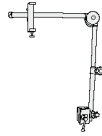
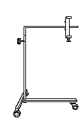
付属品の確認

付属品をご確認ください。
もし、不備な点がありましたら、お買い上げの販売店へご連絡ください。

文字板（ひらがな・あいさつ・体調・オリジナル） 各1	ACアダプター 1	ACコード 1
 ※ひらがな文字板は本体に装着済		
取扱説明書（本冊子） 1	ショルダーベルト 1	TVリモコン送信ケーブル（両面テープ付属） 1
		
文字板用シールセット 1	保証書 1	
		

対応品

対応品は、仕様改善のため予告なく変更することがあります。詳細は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

	手押しスイッチ （スプリング並（黒））	手押しスイッチ （スプリング弱（白））	足踏みスイッチ	ホッパタッチスイッチT
入力スイッチ	 EJ-KKN008	 EJ-KKN009	 EJ-KKN010	 EJ-KKN011
ワイヤレスコイル	小電力型ワイヤレスコイル 接点入力送信器  EJ-KKN005	小電力型ワイヤレスコイル 卓上型受信器  EJ-KKN006	小電力型ワイヤレスコイル 携帯型受信器セット  EJ-KKN007	
支持具	支持アーム  EJ-KKN001	フレキシブルアーム  EJ-KKN002	多機能アーム  EJ-KKN003	スタンドアーム  EJ-KKN004

ご使用の前に (つづき)

■ 必要に応じてお客様にご準備いただくもの

- 乾電池 (単 3 形アルカリ乾電池 ×4 本) …AC アダプターを接続しないで使用する時
- モノラルイヤホン…利用者だけが音を聞きたいとき
- モノラルスピーカー…本機の音量をスピーカーより大きくしたいとき
- プリンター※1 と USB ケーブル…作成した文章を印刷するとき
- モノラルミニプラグケーブル (抵抗なしタイプ) …本機以外の意思伝達装置や環境制御装置※2 を接続するとき

※1 プリンターはエプソン製の USB 端子を持つ一部の機種が対応しています (2013 年 8 月 1 日現在)。
 (『印刷機能』プリンターの機種と設定 (2013 年 8 月 1 日現在) →20 ページ)

※2 障がいをお持ちの方が、手の指先・足・目のまばたきなどで、スイッチを操作して短文を作成したり、文字をひらいて文章を作成したりできる装置が「意思伝達装置」で、テレビやエアコンなどの電化製品のコントロールを、スイッチ一つで操作できる装置が「環境制御装置」です。

本機の取り扱いについて

- 落下などによる強い振動や衝撃を与えないでください。
- 下記の場合は、故障などの原因になることがありますので、特にご注意ください。
 - ・ 砂やほこりの多いところ
 - ・ 雨の日や浜辺など水がかかる場所
- 万一水や海水がかかったときは、柔らかい乾いた布でふいてください。
- 固定用ネジ穴を使用している場合、本機上部に強い力を与えないでください。

使用上のお願い

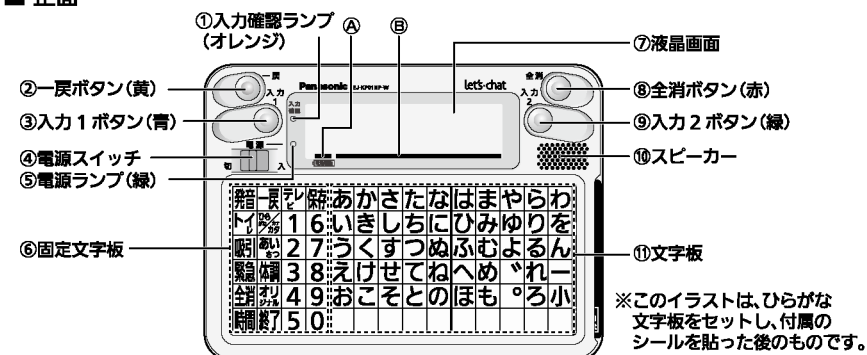
- 設置・使用の前後では、支援者がこまめに固定状況や接続ケーブルの不具合などを確認し、事故のないようにしてください。
- 本機に内蔵されている呼出ブザーはナースコールとしては使用できません。
- 本機側面の端子部は、同じ形状の端子が多数並んでいます。接続先をよくご確認のうえ、正しく接続してください。

お手入れについて

- お手入れの際は、乾電池を取り外し、また電源プラグをコンセントから抜いてから、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は絶対に使用しないでください。

各部の名称と働き

■ 正面



名 称	働 き
① 入力確認ランプ (オレンジ)	入力スイッチや本機のボタンを押したときにランプがオレンジ色で点灯します。入力スイッチを押したことを目で確認できます。 →13 ページ
② 一戻ボタン (黄)	最後に作成した文字 (言葉) を消します。ただし、直前に「ひらがな / カタカナ」「あいさつ」「体調」「オリジナル」を選択した場合はその選択を解除します。文字板の赤いランプの移動中に押すと、その間だけランプの移動が一時停止します。 →14、25、28 ページ
③ 入力 1 ボタン (青)	入力スイッチ端子 (入力スイッチ 1) に接続した入力スイッチと同じ役割をします。利用者に代わって支援者が操作する場合や設定変更のときに使います。 →25、28 ページ
④ 電源スイッチ	電源を入れるとき、このスイッチを【入】(右側)にします。このとき、本機はスリープ状態となります。この状態で入力スイッチをしばらく (0.5 秒) 押すと通常動作になります。スリープ状態では電力消費量は少ないですが、乾電池で動かす場合はこまめに電源スイッチを【切】(左側)にすると乾電池の持ち時間が長くなります。 →13 ページ
⑤ 電源ランプ (緑)	電源スイッチが【入】のとき、ランプが点灯します。→13 ページ
⑥ 固定文字板	選択部分が光ります。→11 ページ
⑦ 液晶画面	選択した文字や文章、設定変更などのメニュー画面や現在の状況が表示されます。乾電池駆動時は、電池マークの上にバーが表示されます (→④)。また、設定変更時には、液晶画面の下にバーが表示されます (→⑧)。
⑧ 全消ボタン (赤)	作成した文章を全て消します。直後にもう一度選択すると、消えた文章が再び表示されます。文字板の赤いランプの移動中に押すとその動作を中止します。 →15、25、28 ページ
⑨ 入力 2 ボタン (緑)	入力スイッチ端子 (入力スイッチ 2) に接続した入力スイッチと同じ役割をします。利用者に代わって支援者が操作する場合や設定変更のときに使います。 →25、28 ページ
⑩ スピーカー	作成した文章を読み上げる音声や操作時のガイド音が出ます。
⑪ 文字板	選択部分が光ります。付属の 4 枚の文字板を交換して使います。→16 ページ

お知らせ

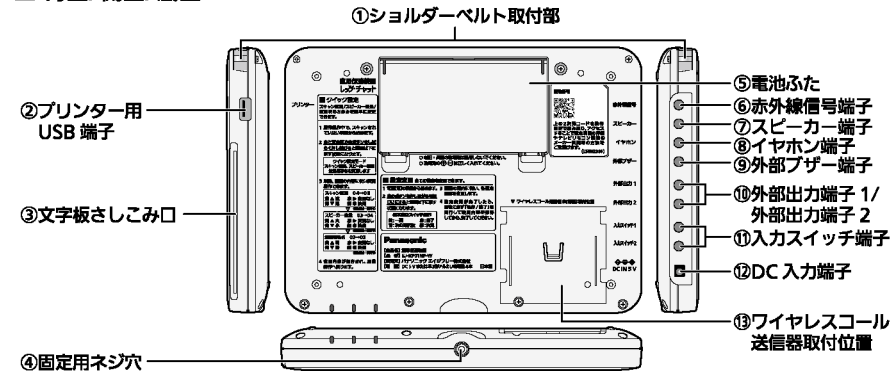
● 本機の入力ボタン機能について

利用者がスイッチをうまく操作できない場合、ご本人のまばたきなどの合図に従って支援者がボタンを押して操作することでも、利用者の言葉を入力できます。



各部の名称と働き (つづき)

■ 背面/側面/底面



名 称	働 き
① ショルダーベルト取付部	付属のショルダーベルトを取り付ける部分です。
② プリンター用 USB 端子	USB ケーブルを用いて、プリンターを接続する端子です。→20 ページ
③ 文字板さしこみ口	付属の文字板をさしこむ部分です。→16 ページ
④ 固定用ネジ穴	支持アームなどの対応品で、本機を固定するときに使います。→12 ページ
⑤ 電池ふた	電池を使うときに、この部分を開けて単 3 形乾電池 4 本を入れます。→12 ページ
⑥ 赤外線信号端子	付属の TV リモコン送信ケーブルを接続する端子です。→26 ページ
⑦ スピーカー端子	市販のスピーカーを接続する端子です。音声より大きく聞かせたいときなどに使います。モノラルイヤホンに接続する端子です。イヤホンを接続すると、操作音は利用者のみに聞こえます。スピーカーからは「発音」を選んだときの液晶画面を読み上げる音と、呼出ブザーの音だけが聞こえます。
⑧ イヤホン端子	
⑨ 外部ブザー端子	ワイヤレスコール送信器(対応品)を接続する端子です。→13 ページ
⑩ 外部出力端子 1/ 外部出力端子 2	本機以外の意思伝達装置や環境制御装置を接続する端子です。接続にはモノラルミニプラグケーブルが別途必要です。→27 ページ
⑪ 入力スイッチ端子 入力スイッチ 1 および 2	入力スイッチを接続する端子です。この端子は 2 つありますが、1 つのスイッチで操作する場合(1 スイッチ・オートスキャン入力方式および 1 スイッチ・ステップ入力方式*)はいずれかの端子にスイッチを接続します。2 つのスイッチで操作する場合(2 スイッチ・ステップ入力方式*)は「送り」を入力スイッチ 1 の端子に、「決定」を入力スイッチ 2 の端子にそれぞれ接続します。→13 ページ
⑫ DC 入力端子	付属の AC アダプターを接続する端子です。コンセントで使用するときに使います。→12 ページ
⑬ ワイヤレスコール送信器取付位置	ワイヤレスコール送信器(対応品)を取り付けます。→13 ページ

お知らせ

※入力方式について

- 1 スイッチ・オートスキャン入力方式 1 つのスイッチで操作します。一定時間で選択項目が移動するのでタイミングを合わせてスイッチを押して文字を入力します。
- 2 スイッチ・ステップスキャン入力方式 2 つのスイッチを組み合わせて操作します。スイッチ1で送り(次の動作へ)を行い、スイッチ2で決定(確定)して文字を入力します。
- 1 スイッチ・ステップスキャン入力方式 1 つのスイッチで操作します。短押しで送り(次の動作へ)を行い、長押しで決定(確定)して文字を入力します。

■ 固定文字板



※このイラストは、付属のシールを貼った後のものです。

名 称	働 き
① 一戻	文章の最後の文字(言葉)を消します。「ひらがな」「あいさつ」「体調」「オリジナル」の枠を選択した直後にこの枠を選択したときは、その選択を取り消します。→14 ページ
② 発音	作成した文章を本機で読み上げるときに使います。液晶画面に何も表示されていない状態、時間に「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」のあいさつを発音します。→15 ページ
③ トイレ	液晶画面に「トイレ」と入力します(事前に付属のシールを貼ってください)。→12 ページ 保存機能を使えば別の文章も保存できます。元に戻すときは、何も表示されていない状態で保存します。『保存した文章を消去する』→22 ページ
④ 吸引	液晶画面に「吸引」と入力します(事前に付属のシールを貼ってください)。→12 ページ 保存機能を使えば別の文章も保存できます。元に戻すときは、何も表示されていない状態で保存します。『保存した文章を消去する』→22 ページ
⑤ 緊急	内蔵のブザーが鳴ります。ワイヤレスコール(対応品)を接続すれば、離れた場所のブザーも鳴らせます。→15 ページ
⑥ 全消	作成した文章を全て消します。直後に、もう一度選択することで消した文章が再び表示されます。→15 ページ
⑦ 時間	液晶画面に日付、曜日、時刻を表示します。このとき、時刻を音声で読み上げるので、液晶画面が見えなくても時刻の確認ができます。→15 ページ
⑧ 終了	本機をスリープ状態にします。このとき、電源は切れていませんので、入力スイッチを長押しすれば再び起動します。→16 ページ
⑨ テレビ	液晶画面に表示されるチャンネル、音量、電源を選択するとテレビのリモコン操作ができます。・ 付属の TV リモコン送信ケーブルを接続してください。→26 ページ
⑩ 保存	付属の文字板の空白の枠に作成した文章や最後に行った操作(印刷などの特殊機能)を保存します。→21 ページ
⑪ ひらがな / あいさつ / 体調 / オリジナル	いずれかの枠を選択すると、セットされた文字板にかかわらず選択された枠の文字板が入っている状態となります。これにより、文字板を交換することなく別の文字板の文字を入力できます。二度続けて同じ枠を選択すると、もう一度同じ枠を選択するまで、選択した枠の文字板が入っている状態が維持されます。ひらがなの文字板をセットしているときに「ひらがな / カタカナ」を選択すると、カタカナ入力ができます。・ 型 欄 型 の文字板挿入時には、カタカナ入力できません。→17、19 ページ

準備をする

「トイレ」「吸引」シールを貼る

本機には、日常よく使用されると思われる「トイレ」と「吸引」の項目があらかじめ保存されています。ご使用前に付属のシールを本機に貼ってください。(右図参照)



設置をする

対応品の支持アームなどを使って、本機を設置します。対応品に付属の取扱説明書に従い、安定した場所に取り付けてください。設置の際は、利用者の安全を最優先に配慮し、事故の無いようにご注意ください。

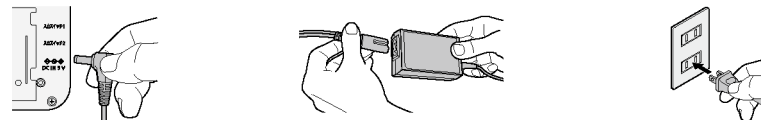
なお、本機の固定用ネジ穴は、三脚用ネジに適合していますので、市販のカメラの三脚などに取り付けて設置することもできます。市販のカメラの三脚などを利用する場合は、本機をしっかりと支えることができるタイプの三脚で、床面の安定した場所に設置してください。

※取り付けまたは取り外し時に、ネジが斜めにならないようにお気をつけください。無理な力で回すと、本機の固定用ネジ穴を破損するおそれがあります。

電源の準備をする

■ 家庭用コンセントを使う場合

- ① ACアダプターの DC コードを本機につなぐ
- ② ACアダプターと ACコードをつなぐ
- ③ 電源プラグをコンセントに差し込む



※コード、プラグはしっかりと奥まで差し込んでください。

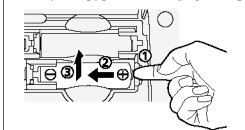
■ 乾電池を使う場合

- ① 本機裏面の電池ふたを開ける
- ② 乾電池 (4 本) を入れ、ふたを閉める



※長時間使用する場合は、付属の AC アダプターを利用することをおすすめします。

●電池を取り出すときは…
⊕と⊖を確認し、⊕側に爪をかけ、⊖側に押しながら上へ上げて取り出してください。



お知らせ

- 乾電池は、単 3 形アルカリ乾電池をお使いください。(ニッケル水素電池 [品番 : HHR-3MVS] も使用できます。)
- 乾電池の残量が減ってくると電源ランプでお知らせします。
 - ・電源ランプ (緑) が遅い間隔で点滅 : まもなく乾電池が無くなります。早めに乾電池を交換してください。
 - ・電源ランプ (緑) が速い間隔で点滅 : 乾電池が消耗しています。すぐに新しい乾電池に交換してください。
- 乾電池の連続使用可能時間は、新しいアルカリ乾電池 4 本 (パナソニック製アルカリ乾電池) で約 8 時間 (室温 25℃) です。こまめに電源を切ることで乾電池の持ち時間を長くすることができます。
- 乾電池と AC アダプターの両方を使った場合は、AC アダプターが優先になります。AC アダプターからの電気供給がなくなると自動的に乾電池に切り替わります。
- 乾電池駆動時は、液晶の左下にバーが表示されます。(※9、13 ページ)
- 不要となった乾電池は、地方の条例に従って処理してください。

入力スイッチ (対応品) について

入力スイッチを入力スイッチ 1 または入力スイッチ 2 の端子に接続します。

- スイッチを 1 つだけで操作する場合は、「入力スイッチ 1」または「入力スイッチ 2」のいずれかの端子に入力スイッチを接続します (どちらに接続しても構いません)。
- スイッチを 2 つ用いて操作する場合は、「入力スイッチ 1」と「入力スイッチ 2」の両方の端子にそれぞれ入力スイッチを接続します。ただし、ステップ入力の場合は設定変更が必要です。(※28 ページ)

ワイヤレスコールセット (対応品) について

ワイヤレスコールの送信器、受信器を接続していれば、本機の電源を【切】にしたときも、入力スイッチまたは入力ボタンを押すと、ワイヤレスコールを鳴らすことができます (本機の呼出ブザーは鳴りません)。電源を切っても誰かを呼ぶ機能だけは確保できるので安心です。

お知らせ

- ワイヤレスコールを利用される場合には、ワイヤレスコールに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機を乾電池で使用しているとき、乾電池が無くなると、呼出ブザーもワイヤレスコールも鳴らすことができない場合があります。早めに乾電池を交換するか、AC アダプターを使用してください。

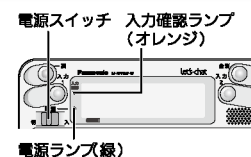
テレビメーカーの設定

付属の TV リモコン送信ケーブルを使うと、テレビの電源、チャンネル、音量を操作することができます。テレビリモコン機能を利用する場合は、最初にテレビメーカー設定を行ってください。(※26 ページ)

電源を入れる

1 電源スイッチを【入】にして、電源ランプ (緑) の点灯を確認する。

この状態を「スリープ状態」と呼びます。
もし、緑のランプが点灯していなければ、AC アダプターが外れているか、乾電池が無くなっているかもしれません。再度ご確認ください。



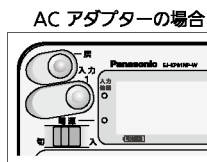
2 入力スイッチをしばらく (0.5 秒以上) 押して離す。

「ポロロ〜」の音とともに、液晶画面が明るくなり起動します。

- 設定項目「21 : 起動方法」が「瞬間」に設定されている場合、入力スイッチを一回押すだけで起動します。(※32 ページ)
- 本機の入力ボタン、または接続した入力スイッチのいずれかを押すと入力確認ランプ (オレンジ) が点灯します。

お知らせ

- 起動中は、液晶画面左下の表示で AC アダプターで動いているのか、乾電池で動いているのかを確認することができます。



会話をする(つづき)

お知らせ

- 本機の電源を切っても設定した時間は記憶されます。ただし、約 2 ヶ月間電源を入れないままにしておくと、時刻がずれる可能性があるので再度設定してください。
- 時間の設定変更は、33 ページの設定項目「24：日時設定」、または 34 ページの「日時設定」をご覧ください。

会話を終了する

終了させる方法は、次の 3 通りです。

- [方法 1] 終了を選択する。
- [方法 2] 3 分間何もしない。
- [方法 3] 電源スイッチを切る。

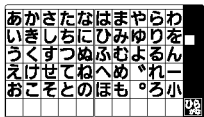
お知らせ

- [方法 1] または [方法 2] で終了した場合、液晶画面が暗くなります。この状態をスリープ状態と呼びます。入力スイッチを長押しすれば、通常動作に戻り、液晶画面も再び表示されます。
- [方法 3] で終了した場合、支援者が電源を入れる(→13 ページ)まで、入力スイッチでの操作ができなくなりますのでご注意ください。

文字板を交換する

全ての文章をひらがなの文字板だけで入力するのは大変です。そこで、文字板には、【ひらがな】の他に【あいさつ】、【体調】があります。これらをうまく使いこなすことで、もっと簡単に文章を作ることができます。

- 【ひらがな】の文字板
一文字ずつひらがなを入力して、文章を作ります。



- 【あいさつ】の文字板
感情表現の言葉です。簡単な会話のときに便利です。



●【体調】の文字板

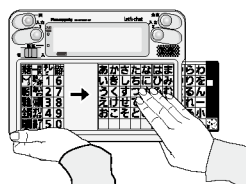
体調を訴えるときに必要な言葉です。病院の先生などと会話をするときに便利です。



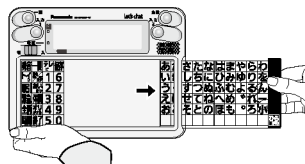
■ 文字板の交換方法

文字板の入れ替えは、支援者が行います。

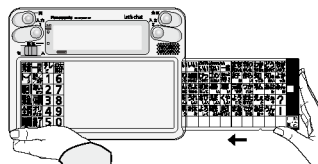
- ① 本機をしっかりと持って、文字板を右へスライドする。



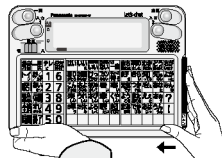
- ② 文字板が右から出てきたら、文字板を引き出す。



- ③ セットする文字板を、差し込み口からまっすぐ差し込む。



- ④ 文字板を最後までしっかりと押し込む。



文字板を交換しないで他の文字板の言葉を入力する

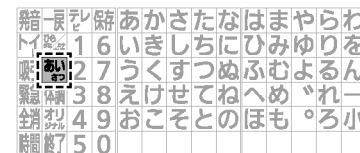
文字板の交換(『文字板を交換する』→16 ページ)は、支援者をお願いする必要がありますが、文字板を交換しなくても他の文字板(【あいさつ】や【体調】)の言葉を入力することができます。

固定文字板に、各文字板の名前の入った枠があります。これを選ぶことで、【ひらがな】の文字板が入っている状態でも、別を選んで文字板が入っている状態と同じ動作をします。これにより全ての文字板のことが文字板を交換することなく入力できます。

【例】【ひらがな】の文字板が入っている状態で【あいさつ】の文字板の「こんにちは」を入力する場合

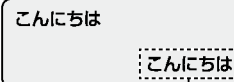
- 1 【あいさつ】を選択する。

- 「あいさつ」という音声流れます。
- 枠の枠が赤く点灯したままになります。



- 2 うを選択します。

- スキャンの音声はあいさつの文字板が入っているときと同じになります。同時に液晶画面の右下の部分には音声と同じ内容が表示されます。



スキャン中は、候補が表示されます。

- この操作が終わると 枠の点灯は消え、元の状態に戻ります。

お知らせ

- 手順 1 で 枠を選んだ場合、うを選択すると う の位置に相当する「耳」が入力されます。

■ 2 回以上連続して同じ文字板の言葉を選択するとき

続けて何度も別の文字板の文字を入力する場合は、文字板の名前の枠を 2 回選ぶことで、連続して別の文字板の文字が入力できます。

一例として…

- 1 【あいさつ】を選択する。

- 「あいさつ」という音声流れます。

- 2 再度、【あいさつ】を選択する。

- 「あいさつ固定」という音声流れます。

- 3 入力したい言葉に対するひらがなを選択する。

- 【ひらがな】の文字板が入った状態で、【あいさつ】の「こんにちは」を入力する場合
→ う を選択する。



- 【ひらがな】の文字板が入った状態で、【あいさつ】の「はじめまして」を入力する場合
→ す を選択する。



- 4 元に戻すには、もう一度、文字板の名前の枠(【あいさつ】)を選択する。

- 「あいさつ解除」という音声流れ、元の状態に戻ります。
- 解除された後、うを選択すると、ひらがなの「う」が入力されます。

お知らせ

- 手順 1 と 2 で 枠を選んだ場合も同様の操作を行ってください。

■ 「カタカナ」を入力するとき

ひらがなの文字板が入っているときに 枠を選択するとカタカナを入力することができます。

お知らせ

- 「カタカナ」は【ひらがな】の文字板がセットされているときのみ選択できます。
- 2 回続けて 枠を選択すると、カタカナの入力に固定されます。再度 枠を選択すると、カタカナの入力が解除されます。
- 枠や 枠または 枠を 2 回連続で選択して固定した場合、固定解除後 枠を選択してください。

クイック設定モード

スキャン速度、スピーカー音量、液晶明るさを変更する

本機には、スキャン速度 / スピーカー音量 / 液晶明るさを簡単に変更することができる「クイック設定モード」があります。

- 支援者が簡単に設定を変更できますので、大変便利です。
- クイック設定モードは、本機の赤ボタンと黄ボタンを押す必要があります。
- 通常動作中（文字板の赤色のランプが光っていないとき）に行ってください。



1 赤ボタンと黄ボタンを同時に 2 秒以上押し続ける。

- 「クイック設定モード」になります。「クイック設定」という音声流れます。しばらく、下記のような画面が表示されます。
- 読み上げ中にボタンを押すと、「ブツ」という音が鳴り、次の画面へ移動します。

クイック設定モード
スキャン速度、スピーカー音量
液晶明るさを変更します

2 スキャン速度を変更する。

- 文字板は、現在のスキャン速度でスキャンします。

スキャン速度 04 → 05
黄▲速 赤▶変更なし
青▼遅 緑●決定

(数値は一例です)

- 黄ボタン（速度を速くする）または青ボタン（速度を遅くする）を押して、設定を変更します。「ブツ」という確認音が鳴ります。設定を変更すると、画面右上の数値が変わります。
- 緑ボタンを押して決定し、次の画面へ移動します。

3 スピーカー音量を変更する。

スピーカー音量 02 → 03
黄▲大 赤▶変更なし
青▼小 緑●決定

(数値は一例です)

- 黄ボタン（スピーカー音量を大きくする）または青ボタン（スピーカー音量を小さくする）を押すと、その音量で確認音がします。その状態で調整してください。
- 設定を変更すると、画面右上の数値が変わります。
- 緑ボタンを押して決定し、次の画面へ移動します。
- 変更がない場合は、赤ボタンを押して次の画面に移動します。

4 液晶明るさを変更する。

液晶明るさ 02 → 01
黄▲明 赤▶変更なし
青▼暗 緑●決定

(数値は一例です)

- 黄ボタン（明るくする）または青ボタン（暗くする）を押して、設定を変更します。設定を変更すると、液晶画面がその明るさとなり、画面右上の数値が変わります。
- 緑ボタンを押して決定し、次の画面へ移動します。
- 変更がない場合は、赤ボタンを押して次の画面に移動します。

5 クイック設定モードを終了する。

- スキャン速度、スピーカー音量、液晶明るさの変更後の値が画面に表示されます。変更がなくてもそれぞれの設定が 5 秒間表示されます。その後、自動的に通常動作に戻ります。

スキャン速度 05 で保存
スピーカー音 03 ・ 終了
液晶明るさ 01 します

お知らせ

- クイック設定の途中で無操作が 1 分間続くと、「あと〇秒入力が無ければ通常動作に戻ります」の表示が出て警告音が鳴ります。さらに無操作が 20 秒間続くと自動的に通常動作に戻ります。
- クイック設定モード中は、本機の通常動作ができなくなるので、放置したままにならないようにするためです。
- より詳細な設定は、28 ~ 33 ページの『設定を変更する』をご覧ください。

特殊文字や特殊機能の入力

本機では、固定文字板の「あいうえお」「かきくけこ」「数字」のいずれかの枠を選んでから文字板の文字を選択することで、異なる文字板の文字などが入力できます(⇒17 ページ)。これ以外に、固定文字板の「文字板の名前の枠+数字」でも特別な機能があります。

1 文字板のいずれかを選択する。



2 数字を選択する。



下記のような機能が使えます。

■ 手順①で「あいうえお」を選んだ場合

あ + 1	「読点」	「読点(、)」を入力します。
あ + 2	「句点」	「句点(。)」を入力します。
あ + 3	「印刷」	作成した文章を印刷します。 (⇒20 ページ)
あ + 4	「外部出力 1」	入力スイッチの信号を本機側面「外部出力 1」に切り替えます。 (⇒27 ページ)
あ + 5	「設定変更」	設定変更の画面に切り替わります。 (⇒28 ページ)
あ + 6	「改行」	次の行へ改行を行います。
あ + 7	「空欄」	1 文字分の空白(スペース)を入力します。
あ + 8	「紙送り」	印刷の後、紙送りで紙を取り出します。 (⇒20 ページ)
あ + 9	「外部出力 2」	入力スイッチの信号を本機側面「外部出力 2」に切り替えます。 (⇒27 ページ)
あ + 0	「イヤホン読み上げ」	文章をイヤホンにだけ聞こえるように読み上げます。

■ 手順①で「かきくけこ」を選んだ場合

か + 1	「たす」	「たす(+)」を入力します。
か + 2	「ひく」	「ひく(-)」を入力します。
か + 3	「掛ける」	「掛ける(×)」を入力します。
か + 4	「割る」	「割る(÷)」を入力します。
か + 5	「イコール」	「イコール(=)」を入力します。
か + 6	「まる」	「まる(○)」を入力します。
か + 7	「ばつ」	「ばつ(×)」を入力します。
か + 8	「三角」	「三角(△)」を入力します。
か + 9	「四角」	「四角(□)」を入力します。
か + 0	「円」	「円(¥)」を入力します。

■ 手順①で「数字」を選んだ場合

数 + 1	「シャープ」	「シャープ(#)」を入力します。
数 + 2	「アンド」	「アンド(&)」を入力します。
数 + 3	「点」	「点(・)」を入力します。
数 + 4	「かぎカッコ」	「かぎカッコ(())」を入力します。
数 + 5	「カッコ」	「カッコ({})」を入力します。
数 + 6	「アスタリスク」	「アスタリスク(*)」を入力します。
数 + 7	「スラッシュ」	「スラッシュ(/)」を入力します。
数 + 8	「点々点」	「点々点(…)」を入力します。
数 + 9	「かぎカッコ閉じる」	「かぎカッコ閉じる(())」を入力します。
数 + 0	「カッコ閉じる」	「カッコ閉じる({})」を入力します。

■ 手順①で「ひらがな」を選んだ場合

ひ + 1	「急いで」	「急いで」を入力します。
ひ + 2	「ゆっくり」	「ゆっくり」を入力します。
ひ + 3	「聞こえません」	「聞こえません」を入力します。
ひ + 4	「これ以外」	「これ以外」を入力します。
ひ + 5	「から」	「から(〜)」を入力します。
ひ + 6	「くるまいす」	「くるまいす」を入力します。
ひ + 7	「ベッド」	「ベッド」を入力します。
ひ + 8	「タオル」	「タオル」を入力します。
ひ + 9	「ふとん」	「ふとん」を入力します。
ひ + 0	「まくら」	「まくら」を入力します。

特別な機能

特殊文字や特殊機能の入力

印刷機能

本機で作成した文章を対応のプリンターで印刷することができます。
初めて本機とプリンターを接続される場合や印刷文字の大きさを変える場合は、プリンターの機種を確認し、必要に応じて設定変更をおこなってください。

プリンターの機種と設定

(2017 年 1 月 1 日現在)

印刷可能なプリンターはエプソン製プリンターで USB 端子を持つ一部の機種のみです。
● 当社指定機種以外のプリンターでは印刷できません。
● 印刷には A4 用紙をお使いください。
● 本機とプリンターは直接 USB ケーブルで接続してください。
● USB ハブを経由した場合、印刷はできません。
● プリンター以外の機器を本機に接続しないでください。

■ 設定変更方法

1 設定変更メニューで、設定項目「プリンター」を選択する。

2 接続したプリンターに対応した設定番号に変更する。

● 印刷対応プリンターと設定一覧表

設定項目 「プリンター」	プリンター機種 (エプソン製)
自動 (初期設定値)	PX-101/PX-V630 PX-201/PX-203/PX-503A/ PX-601F EP-302/EP-702A/EP-802A EP-803A/ PX-402A/PX-501A
1	EP-977A3/EP-907F/EP-807A/ EP-777A/EP-707A/PX-437A/ EP-976A3/EP-906F/EP-806A/ EP-776A/EP-706A PX-436A/PX-1004 EP-905A/EP-905F/EP-805A/ EP-775A EP-904A/EP-904F/EP-804A/ EP-774A PX-535F/PX-505F/PX-435A/ PX-405A PX-105/PX-049A
2	PX-048A PX-046A/PX-1700F/PX-1600F PX-1200 PX-404A/PX-434A/PX-205 PX-K100/PX-045A/PX-675F
3	PX-101/PX-V630 系列のプリンター固定

● 初期設定値でお使いになる場合は、ご購入時の設定の変更は不要です。

【注意】※の付いている機種では、用紙の最後まで印刷した後、そのまま印刷を続けると、紙送りは実行されません。
続けて印刷を行うときは、レッツ・チャットから「紙送り」のコマンドを実行してから印刷を行うことで対応できます。

3 設定変更メニューで、設定項目「印字サイズ」を選択し、文字サイズの設定を変更する。

● プリンターで印刷する文字の大きさは、「大 (初期設定)」・「小」の 2 通りから選択することができます。

お知らせ

● 自動 (初期設定値) で印刷をして下記のような画面が出た場合、自動で認識できないプリンターが接続されています。

印刷が
完了しませんでした
設定を変更してください

設定項目「プリンター」(⇒左表参照) を、1 または 2 に変更してください。
お使いのプリンターがそれぞれの系列に該当した場合、印刷することができます。

印刷方法

最初に印刷したい文章を作成してください。

■ 作成した文章を印刷するには

「印刷」を選択し、[3] を選択する。

■ プリンターの紙を排出するには

「紙送り」を選択し、[8] を選択する。

お知らせ

● 印刷が終わっても、紙はプリンターにセットされたままになりますので、次の文章を作成し、同じ紙に続けて印刷することができます。
ただし印刷を続けた場合、本機では用紙の最後まで印刷したことを確認できないので、ある程度印刷したら紙送りを実行して次の紙に印刷するようにしてください。
● プリンターのインクがなくなった場合、本機では確認できません。印刷がうまくいかない場合は、プリンターの取扱説明書に従い、インクを交換するか、ノズルチェックやクリーニングを実行してください。
● 印刷完了の表示が出ても、プリンターが印刷動作中は USB ケーブルを抜いたり、本機を終了させないでください。
印刷が失敗する場合は、プリンターの電源を入れ直してから再度印刷操作を行ってください。
● プリンターによっては、無操作が継続すると省電力モードに入り復帰に時間がかかるものがあります。このような場合には印刷操作が失敗することがありますが、再度印刷操作を行ってください。

保存機能

本機には、文章や操作を保存できる枠が合計 62 か所あります。
よく使う文章や操作を保存しておくことで、より簡単に、素早く会話が楽しめます。

保存できる場所 (保存枠) は以下の部分です。

● 【ひらがな】・【あいさつ】・【体調】の文字板の下枠 (10 か所 × 3 枚分)
文字板ごとに違う内容が保存できます。



● 固定板の枠 (2 か所)



● 白紙の文字板 (オリジナル文字板) の全ての枠 (最大 30 か所)



作成した文章を保存する

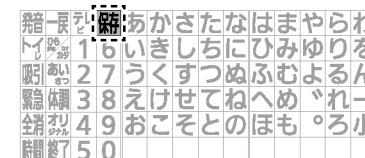
保存したい文章を作成します。
ただし、直前に「印刷」や「設定変更」などの特殊機能を操作した場合 (『特殊機能を保存する』⇒22、23 ページ) は、再度文章を作成してから保存の操作を行ってください。

1 保存したい文章を作成する。

こんにちは、たろうです

2 「保存」を選択する。

● 「保存」という音声流れれます。



● 液晶画面に、確認のために保存する文章が表示されます。
● 保存する文章の最初から 10 文字を読み上げ、保存することを知らせます。

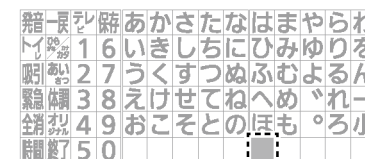
「こんにちは、たろうです」
の文章を保存します

● 保存枠が順番に点灯します。
どの文字板をセットしているときでも、下記のような順番で点灯します。



3 保存したい枠のところで入カス イッチを押す。

● 既に保存されている枠は、スキャン中に保存内容の一部を読み上げます。



保存機能(つづき)

4 「保存しますか?」と確認を求められたら、「はい」で入力スイッチを押す。

「こんにちは、たろうです」
保存しますか?
はい いいえ

- 「はい」「いいえ」の選択肢の色が反転しながら3回移動します。
- 「はい」を選ぶと、選んだ保存枠にその文章が保存されます。

保存中
しばらくお待ちください

点灯中の枠に
保存しました

- 「いいえ」を選ぶか何も選ばなければ、保存されず液晶画面が元の状態に戻ります。

お知らせ

- 保存枠の便利な使い方
保存枠に「、」(読点)や「。」(句点)を保存することができます。この機能を使えば、通常は「 + 数字」の2回の操作で入力を行う「、(読点)」や「。(句点)」などが、保存枠を一度選択するだけで入力できるので、非常に便利です。

■ セットしていない文字板の保存枠への保存方法

セットしている文字板以外の文字板の保存枠に保存するときは、下記のいずれかの操作で行います。

[方法1] 文字板を交換し、の枠と保存する場所を選択する。

[方法2] 保存したい文字板に対応した枠
()を選択し、続けて
の枠と保存する場所を選択する。

お知らせ

- [方法2] でを選択して保存する場合は、オリジナル文字板の30分割で選択した枠に保存されます。

保存した文章を消去する

保存した文章の消去は、「液晶画面に何も入力しない状態を保存する」ことで行います。

① 何も表示されていない状態で「保存」を選択します。

→

- 「保存された文章を消去します」の画面が表示され、保存枠のスクランが始められます。

保存された文章を消去します

② 消去したい枠を選択します。
● 「消去しました」の表示が出たら完了です。

消去しました

固定枠の一番左の上から2番目、3番目の枠(最初は「トイレ」「吸引」の枠)は、何も保存しなければ、それぞれ「トイレ」「吸引」が保存されています。また、設定項目「29: 保存初期化」(⇒33ページ)を選択すれば、本機に保存されたすべての内容が消去されます。

お知らせ

- それぞれの保存枠には、最大360文字(10画面分)まで保存できます。
- それぞれの保存枠に保存した文章に対応した言葉をマジック等で文字板に記入すれば、従来の文字の選択と同様、選択しやすくなります。油性ペンの場合は、消しゴムで消すことができますので、保存文章を変えても、同じ文字板を何度でも使うことができます。

特殊機能を保存する

21ページで説明した保存枠には、作成した言葉や文章だけでなく、「印刷」「紙送り」「外部出力1」「外部出力2」「イヤホン読み上げ」「設定変更」の特殊機能を保存することもできます。この機能を活用すれば、「、」「。」と同様、2つの枠を組み合わせることで選択する必要のある操作を、一度の枠の選択で実行することができます。

【例】「印刷」の操作を保存する場合

- 1 + を選択して印刷を実行する。
 - このとき、実際にプリンターを接続しない状態でも構いません。その場合、「プリンターを確認してください」という画面が表示されたら、「やめる」を選択してください。

2 印刷が終了した後に、を選択する。

- を選択すると、「印刷」の命令を保存します」という画面が表示されます。必ず印刷の次の操作でを選択してください。

「印刷」
の命令を保存します

- 保存可能な枠が順番に点灯します。

3 保存したい枠を選択する。

- このとき保存されている枠の保存内容の一部が読み上げられます。
- どの文字板をセットしているときでも、トイレ・吸引の枠も順番に点灯します。

4 確認画面の「はい」のところで入力スイッチを押す。

機能「印刷」を
保存しますか?
はい いいえ

- 「はい」「いいえ」の選択肢の色が反転しながら3回移動します。
- 「はい」を選ぶと、選んだ枠にその操作が保存されます。「いいえ」を選ぶか、何も選ばなければ、保存されません。

■ 特殊機能のさまざまな保存方法

- 「設定変更」を、現在セットされている文字板の保存枠に保存する

- ① ⇒ を選択する。
 - 「設定変更」という音声流れます。
- ② 設定変更を実行して終了する。
 - 設定は変更しなくてもかまいません。
- ③ ⇒ 保存枠を選択する。

- 「外部出力1」を現在セットされている文字板以外の文字板の保存枠に保存する

- ① ⇒ を選択する。
 - 「外部出力1」という音声流れます。
 - 外部出力に移行します。
- ② 入力スイッチを長押しするか、入力スイッチを4回押す(設定によって異なります)。
- 本機の通常動作へ戻ります。
- ③ 例えば【体調】の文字板に保存したいときは、 + ⇒ 保存枠を選択する。

オリジナル文字板を活用する

固定文字板のを選択した場合に、30分割のオリジナル文字板として使用できます。一方、知的障がいや伴う場合など、30個の選択肢から選択することが困難な場合もあります。そのような場合には、オリジナル文字板を使って、次に示す方法で分割数を少なくして選びやすくすることができます。これにより、1スイッチ・オートスキャン方式で項目を選択する使い方に慣れて頂き、少しずつ分割数を増やすことでより豊かなコミュニケーションを習得して頂くことも可能です。

- オリジナル文字板は、多くの言葉を保存できて大変便利ですが、保存・呼出の手順は少し複雑となります。そのため、支援者が基本的な動作を理解してからオリジナル文字板を作成してください。

オリジナル文字板(表側)	オリジナル文字板(裏側)
保存する言葉を記入したりイラストなどのシールを貼ったりします。	白い四角に黒いシールを貼る作業と、分割数に合わせた罫線を引きます。

お知らせ

- 分割数変更のポイント
オリジナル文字板の「白枠」へのシールの貼り方を変えることで分割数の設定を変更できます。シールは必ず文字板の裏側に貼ってください。

保存機能(つづき)

1 オリジナル文字板の分割数を選択する。

- オリジナル文字板は、分割する数によって、作成できる枚数が異なります。この機能を利用すれば、例えば 4 分割の文字板を 3 パターン作成し、「テレビを見るとき」「食事のとき」「外出のとき」などのシーンに応じて、各枠に別々に保存することができます。利用者の状況に応じて、分割数を下記の 6 種類から選んでください。

- オリジナル文字板の分割数と白枠への黒シールの貼り方
※ 黒シールは必ず文字板の裏側に貼ってください。

分割数	分割図	黒シールの貼り方
2		
4		
6		
9		
15		
30		

2 選択した分割数に合わせて、手順①の「黒シールの貼り方」に一致するように、付属の黒シールを貼る。



3 選択した分割数に対応した罫線を引く。

- 選択した分割数に応じて、手順①の表（オリジナル文字板の分割数と白枠への黒シールの貼り方）を参照しながら罫線を引きます。
- 罫線はオリジナル文字板の表側、裏側のいずれにも引くことができます。

4 各枠へ文字の記入またはイラストや写真を貼り付ける。

- 分割したそれぞれの枠に保存したい項目を描きます。項目は「文字」や「イラスト」を油性ペンで描くことができます。
- また、透明のシートで「裏面がシール、表面はインクジェットプリンターで印刷ができるタイプ」のものを使えば、支援者が描いたイラストや撮影した写真を印刷して貼ることも、簡単にきれいな文字板を作成することができます。

お知らせ

- 透明シートは、家電量販店などで買い求めください。

● オリジナル文字板の作成例

	イラストを貼り付け
	写真を貼り付け
	手書きで作成

5 対応する言葉を保存する。

作成したオリジナル文字板の各枠に対応する言葉を保存します。

- オリジナル文字板への保存方法 1（全分割数に対応、支援者のみ操作可能）
 - 【ひらがな】【あいさつ】【体調】の文字板をセットして、保存する文章を作成します。
 - 「オリジナル文字板」に交換します。
 - 【語】を選択し、続けて保存場所となる枠を選択して保存します。

- オリジナル文字板への保存方法 2（30 分割にのみ対応、利用者・支援者とも操作可能）

- 【ひらがな】【あいさつ】【体調】の文字板をセットして保存する文章を作成します。
- 【語】を選択します。
- 【語】を選択し、続けて保存場所となる枠を選択して保存します。

お知らせ

- オリジナル文字板に文章を保存する場合は、支援者の方が「文章保存モード（支援者が素早く文章を作成して保存）」に従って複数のボタンで行うことで、より早く文章を保存できます。
- 本機前面の【語】を選んだときには、30 分割のオリジナル文字板にのみ切り替わります。30 分割以外の文字板を使うには、その文字板をセットする必要があります。
- オリジナル文字板はお客さま自身でアクリル板を用いて作成することも可能です。追加のオリジナル文字板を販売していますので、買い上げの販売店へお問い合わせください。
- 保存機能操作の途中で無操作が 1 分間続くと、「あと〇秒入力が無ければ通常動作に戻ります」の表示が出て警告音が鳴ります。さらに無操作が 20 秒間続くと自動的に通常動作に戻ります。

文章保存モード（支援者が素早く文章を作成して保存）

文章の保存は大変便利な機能ですが、障がいを持つ方が 1 つのスイッチで長い文章を作成して保存するのは時間がかかります。そこで、障がい者をサポートする支援者が代わりに素早く文章を作成して保存するのが「文章保存モード」です。ここでは、事前に保存したい文章をひと通り決めてから入力作業を行うと、早く保存ができて便利です。設定状態に関係なく、2 スイッチ・ステップスキャン方式になります。

お知らせ

- 電源を切った状態から始めてください。

1 黄ボタンを押しながら電源を【入】にする。

「文章保存モード」→「スイッチ操作」と順番に画面が切り替わります。
（上記の表示中にいずれかのボタンを押しても、次の画面に移ります。）

2 本機前面の 4 個のボタンを使って保存したい文章を作成する。

- 各ボタンの機能は以下の通りです。
黄ボタン：文字を 1 つ消す
赤ボタン：文章を全て消す、または操作をキャンセル
青ボタン：次の選択肢へ移動
緑ボタン：決定

3 【語】を選択する。

4 保存する枠を選択する。

- 21 ページの「作成した文章を保存する」の操作手順をご覧ください。

5 「保存しますか」の画面で「はい」を選択する。

選択した枠に作成した文章が保存されます。

6 赤ボタンを押して作成した文章を消す。

- 手順②～⑥の操作を繰り返して順番に文章を保存します。

7 電源を【切】にし、再度【入】にして、通常動作に戻す。

お知らせ

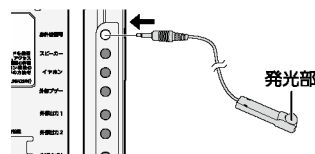
- 文章保存の途中で無操作が 1 分間続くと、「あと〇秒入力が無ければスリープに移行します」の表示が出て警告音が鳴ります。さらに無操作が 20 秒間続くと自動的にスリープ状態となります。スリープ状態になる前に、いずれかのボタンを押すと、「文章保存モード」が継続されます。これは、何らかの理由で支援者が本機を放置してしまっても、自動的に利用者へ操作機能を戻すためです。

テレビリモコン機能

本機に接続した入力スイッチで、テレビの電源、チャンネル、音量を操作することができます。

TV リモコン送信ケーブルを接続する

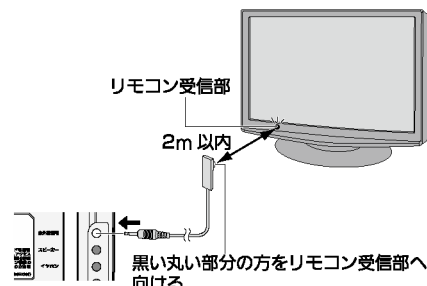
赤外線信号端子に TV リモコン送信ケーブルを接続します。



- TV リモコン送信ケーブルの発光部をテレビのリモコン受信部に向けて、付属の両面テープで固定してください。

テレビメーカーの設定をする

利用するテレビの近くで設定を行ってください。



なお、出荷状態ではパナソニックのテレビに対応しています。パナソニックのテレビをお持ちの場合、まず出荷状態でテレビの電源やチャンネルの切り替えができるかどうかを確認してください。

1 テレビの電源を入れ、画面に何か番組を映す。

- チャンネルが切り替わることでテレビメーカーの設定が合っていることを確認するため、どんな番組でも結構ですので映像を写してください。

2 テレビのメーカー設定をする。

- 『設定を変更する』(▶28、29 ページ)の手順に従い、テレビメーカーを選択します。「27: テレビメーカー」(▶33 ページ)に合わせると以下の画面になります。

テレビメーカー 1
上げる 下げる
戻る 終了

3 手順2の画面の状態、入力スイッチを押す。

テレビメーカーの設定が「1→2→3・・・」と変わり、赤外線発光部より各テレビメーカー(設定項目「27: テレビメーカー」の表▶33 ページ)に示す「チャンネルアップ」信号が出されます。テレビのチャンネルが切り替わった時点の選択肢が利用するテレビメーカーと一致したことになります。テレビ画面が切り替わったところで設定を完了し、最後に「設定変更を保存」します。

お知らせ

- テレビによっては、チャンネルの切り替わりが遅いものがありますので、テレビメーカーの設定変更はゆっくり行ってください。

操作方法

1 テレビを選択する。

2 操作したい項目を選択する。

● テレビ操作内容一覧

項目	動作
CH アップ	チャンネルを選ぶ
CH ダウン	
音量アップ	音量を上げる
音量ダウン	音量を下げる
電源	テレビの電源を入れる / 切る
戻る	通常画面に戻る

● テレビ操作画面

CH アップ CH ダウン
音量アップ 音量ダウン
電源 戻る

お知らせ

- 対応テレビメーカーは、33 ページを参照してください。(対応テレビメーカーの製品であっても操作できない場合があります。)
- ビデオや DVD 付きテレビなどの複合機は本機では操作できない場合があります。
- ケーブルテレビチューナーのチャンネル変更はできません。
- テレビ側のリモコンコードを変えている場合は初期状態に戻して下さい。本機は初期状態のリモコンコードにのみ対応しています。

意思伝達装置、環境制御装置などとの接続方法と操作方法

本機では、意思伝達装置、環境制御装置など、1つのスイッチで操作できる機器を最大2台まで接続し、本機から切り替えて操作することができます。

対応する装置

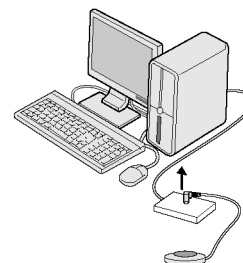
- 意思伝達装置や環境制御装置など、1スイッチでの操作が可能な装置

接続時の注意

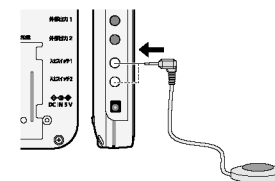
- 「外部出力 1」または「外部出力 2」を使って、他の機器を接続した場合、本機に接続された入力スイッチの入力操作信号をそのまま外部出力の先に接続された機器へ入力させることができます。これにより、本機を介して複数の機器(意思伝達装置、環境制御装置など)を使い分けて操作することが可能になります。本機を用いて健常者向けのパソコンなどを操作できるわけではありませんのでご注意ください。
- 接続する機器側でも、入力スイッチを押し続ける動作がある場合は、本機の長押し判定の時間を、接続する機器の長押し判定時間よりも長く設定する必要があります。接続した機器が長押しを判断する以前に入力スイッチの信号が本機に切り替わるのを防ぐためです。
- 本機の外部出力機能を用いた操作は、他の機器の動作を保証するものではありません。接続の際には、お客様の責任にて動作確認を行った上でご利用ください。
- モノラルミニプラグケーブル(抵抗なしタイプ)(市販品)を、接続する装置1台につき1本準備してください。

接続方法

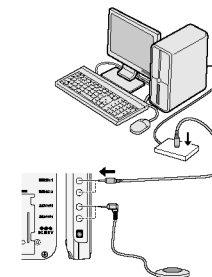
意思伝達装置との接続を例に説明します。
① 意思伝達装置から入力スイッチを外します。



- ② 入力スイッチを本機の入力スイッチ 1 または 2 に差し込みます。



- ③ モノラルミニプラグケーブル(市販品)を使って、①で入力スイッチを外した端子と本機の外部出力 1 または 2 を接続し



切り替え方法

- 本機から別の機器へ切り替えるとき
「外部出力 1」の接続機器に切り替えるときは、**4** (「外部出力 2」の接続機器に切り替えるときは **9**) を選択します。

- 別の機器から本機へ切り替えるとき
入力スイッチを長押し
または
入力スイッチを 4 回連打します。
● いずれかの操作をすると、本機の通常動作に戻ります。

お知らせ

- 2 入力方式で操作をする際の外部接続を行う機器について
2 入力方式で本機を操作している場合は、外部出力も 2 入力方式で操作できるようになっています。
2 入力方式のときは、「外部出力 1」と「外部出力 2」の機能はそれぞれ入力スイッチ 1 と 2 と同じとなり、2 入力方式の機器を 1 台または 1 入力方式の機器を 2 台接続することができます。

設定を変更する

本機はさまざまな障がいを持つ方が使えるように、多くの設定項目を準備しています。
設定変更は支援者が本機の 4 つのボタンを使って操作する方法と、利用者が 1 つまたは 2 つの入力スイッチを使って操作する方法があります。
なお、スキャン速度、スピーカー音量、液晶明るさは支援者がクイック設定でも変更できます(▶18 ページ)

支援者による設定変更方法

支援者が本機の 4 つのボタンを使って行います。
この方法では、設定状態に関わらずステップ入力方式になります。通常の青ボタン、緑ボタンに加え、赤ボタン、黄ボタンの 4 つのボタンを使って素早く設定変更を行うことができます。

- 各色ボタンの機能は以下ようになります。
- 青ボタン：次の選択項目(または選択肢)へ移動
 - 緑ボタン：決定
 - 黄ボタン：前の選択項目(または選択肢)へ移動
 - 赤ボタン：設定項目「30：保存 / 終了」へ移動(▶33 ページ)

- ① 電源[切]からはじめます。
- ② 赤ボタンを押しながら電源を[入]にします。
- ③ 「設定変更」という音声流れ、設定変更メニューの画面に切り替わります。以後、「設定変更メニュー」の指示に従い設定を変更します。
- ④ 上記方法で設定変更メニューに移行すると、以下のよう液晶画面に表示されます。

1 スキャン速度 8
2 長押し時間 終了は、
3 スピーカー音 長押

- ⑤ 青ボタン(黄ボタン)を押すごとに、設定項目が一つ上がる(下がる)ので、変更したい設定項目が反転している状態で緑ボタンを押すと、その項目の設定内容変更画面になります。

スキャン速度 8
速く 遅く
戻る 終了

- ⑥ 設定内容変更画面では、青ボタンを押すごとに設定変更候補が順番に切り替わるので、変更したい項目が反転している状態で緑ボタンを押すことで設定を変更することができます。
 - 黄ボタンを押すと、④の設定変更メニュー画面に戻ります。
 - 赤ボタンを押すとその時点で全ての設定を保存して終了する画面へ移動します。
- ⑦ 赤ボタンを押すか、「終了」を選ぶと、以下の画面に切り替わりますので、変更した内容を反映させるには必ず「はい」を選択して保存してください。

変更した設定を
保存しますか？
はい いいえ 戻る

- 「いいえ」を選択すると、保存せずに設定変更画面を終了します。
- 「戻る」を選択すると、設定変更メニューに戻ります。

お知らせ

- 設定変更の途中で無操作が 1 分間続くと、「あと〇秒入力が無ければスリープに移行します」の表示が出て警告音が鳴ります。さらに無操作が 20 秒間続くと自動的にスリープ状態となります。そのままスリープ状態になると、設定は保存されませんのでご注意ください。

利用者による設定変更方法

利用者が本機に接続した 1 つの入力スイッチを使って行います。

- ① → [5] を選択します。
- ② 「設定変更」という音声流れ、設定変更メニューの画面に切り替わります。以後、「設定変更メニュー」の指示に従い設定を変更します。
- ③ 上記方法で設定変更メニューに移行すると、以下のよう液晶画面に表示されます。以後、利用者が入力スイッチを操作するだけで設定変更ができます。

1 スキャン速度 8
2 長押し時間 終了は、
3 スピーカー音 長押・4 連打

- ④ 設定変更メニューの設定項目が一定時間ごとに上になって切り替わります。変更したい設定項目が一番上の行に表示されたとき入力スイッチを押すと、その項目の設定内容変更画面になります。

スキャン速度 8
速く 遅く
戻る 終了

- ⑤ 設定内容変更画面では、同様に一定時間ごとに項目が順番に切り替わるので、変更したい項目が反転したところで入力スイッチを押すと、設定が変わります。
- ⑥ 「戻る」を選択すると、設定変更メニューに戻ります。「終了」を選ぶと、以下の画面に切り替わります。入力スイッチを長押しするか、設定変更メニューの「30：保存 / 終了」を選択しても以下の画面に切り替わります。変更した内容を反映させるには必ず「はい」を選択して保存してください。

変更した設定を
保存しますか？
はい いいえ 戻る

- 「いいえ」を選択すると、保存せずに設定変更画面を終了します。
- 「戻る」を選択すると、設定変更メニューに戻ります。

お知らせ

- 2 スイッチ・ステップスキャン入力方式で操作する場合は、入力スイッチ 1 でメニュー項目の移動、入力スイッチ 2 でメニュー項目の選択になります。1 スイッチ・ステップスキャン入力方式で操作する場合は、入力スイッチを短押しするとメニュー項目の移動、入力スイッチを長押しするとメニュー項目の選択になります。さらに長押しすると、設定変更を終了します。
- 変更した設定内容は「保存」を実行するまで反映されません。ただし、設定項目「24：日時設定」、「28：設定初期化」「29：保存初期化」はすぐに反映されます。(▶33 ページ)
- 設定変更の途中で無操作が 1 分間続くと、「あと〇秒入力が無ければ通常動作に戻ります」の表示が出て警告音が鳴ります。さらに無操作が 20 秒間続くと自動的に通常動作に戻ります。

設定内容

設定項目	設定範囲 / 選択肢	初期状態	説明
1：スキャン速度	1(8秒)～13(0.2秒)	8	文字板の赤いランプの動く速さを調整します。数字が大きいほど、速くなります。
2：長押し時間	1秒～15秒(10段階)	2秒	呼出ブザーを鳴らすまでの時間を調整します。 ● 時間を長くするほうが誤動作は少なくなりますが、長すぎると負担になる場合があります。普通にスイッチを押して離す「時間よりも少し長めの時間に設定してください。また、スイッチを押すことはできるが離すことが難しく、すぐにブザーが鳴ってしまう、という場合は長押し時間を 10 秒以上まで延ばして、鳴りにくくすることで対応できます。
3：スピーカー音量	0(無音)～7(8段階)	4	スピーカーから出る音声の音量を調整します。
4：イヤホン音量	0(無音)～7(8段階)	4	イヤホンから聞こえる音量を調整します。
5：ブザー音量	0(無音)～7(8段階)	4	スピーカーから出る呼出ブザーの音量を調整します。
6：読み速度	速く、普通、遅く(3段階)	普通	「発音」を選択したときの音声の読み上げ速度を調整します。 ● 遅くしたほうが聞き取りやすくなりますが、読み上げるまでの時間がかかります。
7：スキャン回数	1回、2回(2段階)	2回	赤いランプの点灯の繰り返し回数を設定します。
8：スキャン開始位置	左、中、左無し	左	スキャンの開始位置を左側、まん中、左側無しでまん中からのいずれかを選択します。 ● 「左無し」とすれば、「操作」の固定文字板をスキャンしなくなるので、知的障がいをお持ちの方など、操作項目の理解が困難な方には、複雑な選択肢が無くなり使いやすくなります。 (注意) 利用者が入力スイッチ 1 つだけで操作する場合に「左無し」を選択して保存・終了させると、入力スイッチ 1 つだけの操作では「設定変更」に入ることができなくなります。「左無し」を選択する場合は慎重に行ってください。
9：ブロックスキャン	あり、なし	あり	赤いランプの動き方をブロックごとのスキャンか 1 列ごとのスキャンかを選択します。 ● 「あり」： 例えば、【ひらがな】の文字板の場合、「操作」「あかさたな」「はまやわ」「保存枠(中)」「保存枠(右)」の 5 つのブロックでのスキャンを行います。文字を決定するまでの平均時間は短くなります。 ● 「なし」： 1 列ずつスキャンを行います。文字の選択には時間がかかりますが、1 スイッチ・オートスキャン入力方式の場合に、入力スイッチを押す回数は「あり」と比べて 1 回少なくなります。

設定項目の一覧

最初はお届け時の状態で動かしていただき、製品の基本的な特徴を理解した後に、利用者が最も操作しやすい設定に調整して使うことをおすすめいたします。

お知らせ

- 設定項目を変更したとき、必ず最後に「設定変更を保存」する必要があります。
設定変更を行った場合、最後にメニューの「保存 / 終了」を選択し、保存を実行してください。

設定を変更する(つづき)

設定項目	設定範囲 / 選択肢	初期状態	説明
10: 自動スリープ	あり、なし	あり	何も操作しない状態が 3 分続いたときにスリープ状態にするかを設定します。乾電池で使われる際は、省エネのため、自動的にスリープ状態になるように設定することをおすすめします。 ●『あり』: 3 分間操作の無い状態が継続されれば、自動的にスリープ状態になります。スリープ状態では赤いランプは消え、液晶画面も、作成した文章も消えます。入力スイッチを 0.5 秒押せば再び起動し、スリープ状態に入る前の文章が液晶画面に再び表示されます。 ●『なし』: スリープ状態になりません。
11: 3 連打キャンセル	あり、なし	なし	スキャンしているランプの動きをキャンセルするとき、3 連打を有効にするかを選択します。
12: 4 連打動作	あり、なし	あり	呼出ブザーを鳴らすときと外部出力から本機に操作を戻すとき、4 連打を有効にするかを選択します。 ●4 連打で動作ができると便利な反面、速く入力を行うことができる人によっては、誤動作の原因となることがあります。操作中に服やぬいぐるみで 4 連打動作となってしまう場合には、この動作を「なし」にすると誤動作を軽減できます。
13: 入力無視時間	0 秒(なし)～0.4 秒 (5 段階)	0(なし)	一定時間以下の瞬間的なスイッチの入力動作を本機で無視することができます。 ●まばたきなど、瞬間的な動きでスイッチ操作をする場合、通常のまばたきでは動作せず、しっかりと目を開け閉めすることで誤動作を少なくしながら本機を使うことができます。この設定の場合、入力スイッチを「しっかりつないで、離す」という操作が必要です。 入力スイッチを無視する時間は利用者の操作状況を見て、誤動作を防ぐことのできる適切な長さに設定してください。 ●入力スイッチを固定している手などに常に細かい震えがある方などに有効です。意図しないわずかな震えにより短時間の入力を無視し、意図して入力スイッチをしっかりと押した場合の入力のみを認識されるようになります。入力スイッチを押す力が弱く、通常操作でも極めて短時間の入力となる方は、この設定時間を行うことで逆に入力そのものができなくなる可能性があるのに注意してください。
14: 震え誤動作防止	0 秒(なし)～0.8 秒 (9 段階)	0(なし)	入力スイッチを一度押した後、この設定時間内に押されたスイッチ操作を本機で無視することができます。 ●震え誤動作防止の設定範囲は、利用者の操作状況を見て、誤動作を防ぐことのできる適切な長さに設定してください。 ●1 回だけ入力スイッチを押そうとしても、震えて何度も続けて押してしまう方に有効です。最初に押した 1 回のみ認識されるようになります。素早く正確にスイッチ操作ができる方には逆に連続して押すことができなくなるのに注意してください。
15: 連続入力	あり、なし	なし	文字を入力した後、次のスキャンを自動的に始めるかを選択します。 ●『あり』: 自動的に次のスキャンを開始します。文字〈言葉〉を選択した後、約 1 秒後に「ブッ・ブッ」の音とともに次の入力のために赤いランプの移動が自動的にスタートします。これにより、次の文字を選択する際には入力スイッチを押す回数が『なし』に比べて 1 回少なくなります。選択を終了する場合は、そのままにしておけばスキャンが終了します。「発音」を選択したときは、次のスキャンを行いません。 ●『なし』: 連続入力を行いません。1 つの文字を選択した後、次の文字を選ぶときは入力スイッチを押します。スイッチを押す回数は減りませんが、1 文字ずつ自分のペースで入力できます。

設定項目	設定範囲/選択肢	初期状態	説明																																																																	
16：スイッチ操作方法	1オート、2ステップ、1ステップ	1オート	機器の操作を行うための入力方式を選択します。 ●「1 オート」： 1 スイッチ・オートスキャン方式となり、自動的に赤いランプが動きます。このとき、本機の側面の「入力スイッチ 1」「入力スイッチ 2」の端子は両方とも同じ機能となります。外部出力の端子は 1 スイッチで操作できる機器を 2 台まで接続可能です。 スイッチを 3 連打するとスキャンをキャンセルしたり、4 連打すると呼出ブザーが鳴ります(3 連打キャンセル、4 連打動作が有りの設定時のみ)。 ●「2 ステップ」： 2 スイッチ・ステップスキャン方式で入力を行います。「入力スイッチ 1」で赤いランプを次へ移動させ、「入力スイッチ 2」で点灯している部分を選択します。また、このときの外部出力は 2 入力方式で 1 台もしくは 1 入力方式で 2 台のいずれかの操作を行う機器に対応します。 2 つのスイッチを確実に押し分けられる方におすすめします。このときは自分のペースで文字を選択することが出来ます。この場合、3 連打キャンセルおよび 4 連打動作は無効となります。 ●「1 ステップ」： 1 スイッチ・ステップスキャン方式で入力を行います。「入力スイッチ 1」「入力スイッチ 2」の端子は両方とも同じ機能となります。入力スイッチを短押しすると赤いランプが次へ移動し、長押しすると点灯している部分を選択します。外部出力の端子は 1 スイッチで操作できる機器を 2 台まで接続可能です。 長押しによる選択の決定は、選択音と共にスキャン中は赤いランプの 1 回消灯で、それ以外は文字板中央に円形に赤いランプが点灯することで確認できます。 <table><tr><td>語</td><td>1</td><td>6</td><td>い</td><td>き</td><td>し</td><td>ち</td><td>に</td><td>ひ</td><td>み</td><td>ゆ</td><td>り</td><td>を</td></tr><tr><td>明</td><td>2</td><td>7</td><td>う</td><td>く</td><td>す</td><td>つ</td><td>ぬ</td><td>ふ</td><td>む</td><td>よ</td><td>る</td><td>ん</td></tr><tr><td>語</td><td>3</td><td>8</td><td>え</td><td>け</td><td>せ</td><td>て</td><td>ね</td><td>へ</td><td>め</td><td>れ</td><td>ー</td><td></td></tr><tr><td>語</td><td>4</td><td>9</td><td>お</td><td>こ</td><td>そ</td><td>の</td><td>ほ</td><td>も</td><td>ろ</td><td>小</td><td></td><td></td></tr><tr><td>語</td><td>5</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> スイッチの短押しおよび長押しを確実に押し分けられる方におすすめします。このときは自分のペースで文字を選択することが出来ます。この場合、3 連打キャンセルおよび 4 連打動作は無効となります。	語	1	6	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を	明	2	7	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん	語	3	8	え	け	せ	て	ね	へ	め	れ	ー		語	4	9	お	こ	そ	の	ほ	も	ろ	小			語	5	0										
語	1	6	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を																																																								
明	2	7	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん																																																								
語	3	8	え	け	せ	て	ね	へ	め	れ	ー																																																									
語	4	9	お	こ	そ	の	ほ	も	ろ	小																																																										
語	5	0																																																																		
17：ブザー種類	1、2、3、4 (4種類の音種)	1	ブザーの音を 4 種類から選べます。ワイヤレスコールシステム(対応品)のブザー音と同じ音が入っています。使う方の周囲でお使いの他の機器のブザー(人工呼吸器の警告音など)と聞き違えることのない音に設定してください。 1:「ビビッ」、2:「ブー」、3:「ポロロン」、4:「ブルブル」																																																																	

設定を変更する（つづき）

設定項目	設定範囲/選択肢	初期状態	説明
18：音声種類	男性、女性、男の子、女の子、ドレミ、なし	女性	操作時の音声を選択します。ただし、設定変更のガイド音は設定に関わらず、女性の音声です。 ●『男性』： 音声は男性の声になります。スキャン速度が速いと音声途中で切れることがあります。 ●『女性』： 音声は女性の声になります。スキャン速度が速いと音声途中で切れることがあります。 ●『男の子』： 音声は男の子の声になります。スキャン速度が速いと音声途中で切れることがあります。 ●『女の子』： 音声は女の子の声になります。スキャン速度が速いと音声途中で切れることがあります。 ●『ドレミ』： 操作音がド・レ・ミの音階になります。この場合、スキャン速度が速くても音が途中で切れないので、操作に慣れてくると音階が使いやすい場合があります。また、入力確定時の読み上げはなくなります。「発音」の音声は、前に保存されていた「男性」「女性」「男の子」「女の子」の声になります。 ●『なし』： 音声を無しにします。文章を作成するときは音が出ませんが、「発音」を選んだとき、呼出ブザーだけはスピーカーから音が出ます。「発音」の音声は、前に保存されていた「男性」「女性」「男の子」「女の子」の声になります。
19：入力確定時読上	1文字、画面、全部	1文字	入力した文字を決定したときに読み上げる文章の範囲を設定します。 ●『1文字』： 入力決定した文字または言葉のみを確認のために読み上げます。 ●『画面』： 入力を決定することにより液晶画面に表示されている文字（最大36文字）を読み上げます。 液晶画面が見えないときなど、作成した文章をなかなか覚えられない場合、文字を入力することに文脈を音声で追いかけることができるので便利です。 ●『全部』： 入力を決定することにより、液晶画面に表示されていない部分も含めて文章の全てを読み上げます。 視覚障がいも持つ方や長い文章を記憶しきれないという方が、液晶画面を全く見ずに文章全体を把握しながら少しずつ文章を作成することができます。ただし、長い文章だと読み上げに時間がかかるので、ゆっくりでも文章全体を考えながら作成する方におすすめです。
20：入力確定時画面	追記、上書き、発音後消去	追記	文字を液晶画面に表示する際、追加して表示か、消去して表示か、読み上げた後に消去するかを設定します。 ●『追記』： 文字を選択し、液晶画面に表示する際、追加して表示します。 ●『上書き』： 文字を選択し、液晶画面に表示する際、上書きして表示します。 ●『発音後消去』： 「発音」を選択し、作成した文章を読み上げた後、液晶画面の表示を消去します。
21：起動方法	長押し、瞬間	長押し	本機前面の電源を【入】にした状態で起動させるときの時間を選択します。 ●『長押し』： 入力スイッチをしばらく（約0.5秒）押し続けることで本機を起動します。就寝時などに間違えてスイッチに触れた程度では起動しないので誤動作を防ぎます。 ●『瞬間』： 押したままの状態を保持できない（接点をつないだままの状態を維持できない）入力スイッチをお使いの場合、入力スイッチを押すと本機が起動します。ただし、間違えて起動させてしまうなどの誤動作の可能性もあるのでご注意ください。

設定項目	設定範囲 / 選択肢	初期状態	説明																																							
22：プリンター	自動、1～3	自動	接続するプリンターの種類を選択します。 このメニューを選択した後、プリンターの種類を設定してください（『印刷機能』⇒20 ページ）。																																							
23：印字サイズ	大、小	大	プリンターで印刷する文字の大きさを「大」「小」の2 通りから選択します。 ●本機は、印刷中に他の操作を行うことができません。																																							
24：日時設定	年、月、日、時、分		時計機能の年月日、時間の設定をします。この項目での設定方法の他に、本機の4 つのボタンを使って、簡単に設定変更することができます（『日時設定』⇒34 ページ）。																																							
25：保存機能	あり、なし	あり	保存機能の有効、無効の切り替えをします。 ●保存機能を「なし」とすれば、文字の入力のみを行うことになり操作がより簡単となります。 ただし、保存はできません。 ●保存機能を「なし」にした場合、保存した文章や操作の呼び出しもできません。 ただし、トイレと吸引の項目に保存した文章や操作は呼び出すことができます。																																							
26：液晶明るさ	なし、1、2、3	2	液晶バックライトの明るさを設定します。																																							
27：テレビメーカー	1～19	1	テレビのメーカーを設定します。 ●対応するテレビメーカー（1990 年以降の機種）																																							
			選択肢	メーカー	1	パナソニックA（三洋C、日立C、三菱C）	2	パナソニックB	3	パナソニックC	4	三洋A	5	三洋B	6	シャープA	7	シャープB	8	シャープC	9	ソニー	10	東芝	11	パイオニア	12	日立A	13	日立B	14	ビクター	15	三菱A（日立D）	16	三菱B（日立E）	17	BLUEDOT A	18	BLUEDOT B	19	BLUEDOT C
			選択肢	メーカー																																						
			1	パナソニックA（三洋C、日立C、三菱C）																																						
			2	パナソニックB																																						
			3	パナソニックC																																						
			4	三洋A																																						
			5	三洋B																																						
			6	シャープA																																						
			7	シャープB																																						
			8	シャープC																																						
			9	ソニー																																						
			10	東芝																																						
			11	パイオニア																																						
			12	日立A																																						
			13	日立B																																						
			14	ビクター																																						
			15	三菱A（日立D）																																						
			16	三菱B（日立E）																																						
			17	BLUEDOT A																																						
18	BLUEDOT B																																									
19	BLUEDOT C																																									
28：設定初期化	はい、いいえ		スキャン速度、長押し時間などのすべての設定項目を初期設定（工場出荷時）の状態に戻します。																																							
29：保存初期化	はい、いいえ		保存機能を用いて保存されたすべての言葉を消去します。 固定文字板の最左列・上から2、3 番目の枠は初期状態の「トイレ」「吸引」となります。																																							
30：保存 / 終了	はい、いいえ、戻る		設定画面から本機の通常の操作に戻るときに選択します。 「保存 / 終了」を選択した場合、それまでの設定変更内容を反映させるには、必ず「変更した設定を保存しますか」の画面で「はい」を選択して、変更した内容を保存してください。																																							

設定を変更する（つづき）

日時設定

4つのボタンで素早く日時設定ができます。

- 1 電源【切】の状態にする。
- 2 黄ボタンと赤ボタンを押しながら電源を【入】にする。
 - 「日時設定モード」⇒「基本的なスイッチ操作」と順番に画面が切り替わります。
 - 年 月 日 時間 分と順番に点滅していきますので、調整してください。
黄ボタン：進める
赤ボタン：（使いません）
青ボタン：戻す
緑ボタン：決定

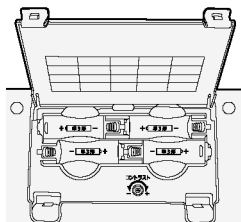
お知らせ

- 日時設定の途中で無操作が1分間続くと、「あと○秒入力が無ければスリープに移行します」の表示が出て警告音が鳴ります。さらに無操作が20秒間続くと自動的にスリープ状態となります。スリープ状態になる前に、いずれかのボタンを押すと、「日時設定モード」が継続されます。これは、何らかの理由で支援者が本機を放置してしまっても、自動的に利用者へ操作機能を戻すためです。
- 日時設定は、内蔵日付用電池を使って記憶させています。本機動作中は内蔵日付用電池が充電されます。約24時間の充電で約2ヶ月間時計設定を記憶できます。（本機がスリープモードでも充電しています。）

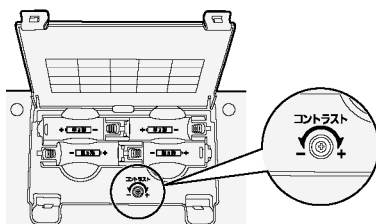
液晶画面のコントラストの調整

文字が見にくい場合に、液晶画面の濃淡を調整します。プラスドライバーを用意してください。

- 1 本機背面の電池ボックスのふたを開ける。



- 2 図の部分にプラスドライバーをあて、左右に回して調整する。



- 回しすぎに注意してください。

故障かな!?

故障かな?と思ったら以下の項目を確認してみてください。
それでも直らないときや、症状が載っていないときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
文字板が正しく認識されない	文字板をしっかりと入れ直してください。 オリジナル文字板で、分割数が正しく認識されない場合は、文字板右側の「白と黒の枠」の設定が上手くできていないことが考えられます。「オリジナル文字板を活用する」を参照し、正しく設定してください。特に、白枠への黒シールの貼り方に注意してください。	16 23~25
突然電源が切れてしまう	● ACアダプターを使用している場合 電源ランプ（緑色）が点灯していないと、接続に問題があります。正しく接続しなおしてください。それでも駄目な場合は、コード内部で断線している可能性がありますので、お買い上げの販売店へご相談ください。 ● 乾電池を使用している場合 電源ランプ（緑色）が点滅、または点灯していないと電池切れです。新しい乾電池に交換してください。 なお、電池残量がほとんど無い場合は、電源ランプが点滅する前に本機の電源が切れてしまうことがありますので、電源ランプが点滅を始めたら早めに乾電池を交換してください。	9、12、13
入力スイッチが反応しない	● 本機の青ボタン・緑ボタンを押しても動かないときは… 本機の異常が考えられます。電池や AC アダプターなどを確認してください。 ● 本機の青ボタン・緑ボタンを押して正常に動くときは… 入力スイッチを接続する端子を間違えている可能性があります。10ページを参照し「入力スイッチ端子1または2」に正しく接続しているか確認してください。次に、入力スイッチの異常も考えられます。スイッチの動作不良やケーブルの断線などがないかなどを確認してください。	9、10、12、13
カチカチ音がする	消耗した乾電池を使用している場合にカチカチと音がする場合がありま。新しい乾電池に交換してください。	12

こんな表示が出たら

表示画面	確認するところ・原因・対策	参照ページ
入力限界です	文字入力が30行目の最後に到達しています。これ以上文字を入力することができません。	-
操作を進めてください あと○秒入力が無ければ 通常動作に戻ります	1 スイッチ・ステップスキャン入力方式と2 スイッチ・ステップスキャン入力方式で、クイック設定モード、保存機能、設定変更メニューなどを操作中に1分以上無操作が続くと通常動作に戻ります。	18、25、28、29
操作を進めてください あと○秒入力が無ければ スリープに移行します	文章保存、設定変更または日時設定の途中で1分以上無操作が続くとスリープに移行します。	25、28、34
電池が消耗しています 操作中に電源が 切れる恐れがあります	電池が消耗している状態で電源スイッチを入れたときやスリープ状態から通常状態になった時などに表示されます。操作中に電源が切れる可能性がありますので新しい乾電池に交換してください。	12
プリンターを 確認してください	印刷や紙送り操作を行ったときにプリンターが正しく認識できていません。プリンターの状態やプリンターとの接続を確認してください。	20
印刷が 完了しませんでした 設定を変更してください	自動（初期設定値）で認識できないプリンターが接続されています。設定項目「プリンター」を1、2、または3に変更して印刷できるか確認してください。	20